

令和8年度中央講習会茨城県伝達講習会

日時：令和8年4月18日（土）

場所：アルテンジャパン武道館

時間	内容等	
9:30	開講式	会長あいさつ 講師紹介 日程説明等
9:35	講義Ⅰ	「中央講習会伝達事項」 岡田宗久講師
10:30	実技Ⅰ	「指導法」～基本指導の留意点・安全対策・救急対策他～ 「木刀による剣道基本技稽古法」（講義・実技） 岡田宗久講師
12:30	実技Ⅱ	「日本剣道形」有田祐二講師・岡田宗久講師
14:00	実技Ⅲ	「試合・審判法」～現状の課題他～有田祐二講師・岡田宗久講師
15:00	質疑 応答	（中央講習会での質疑等も含めて）
15:10	合同 稽古	元立：会長・副会長・講師 受講者同士での稽古
15:40	閉講式	岡田講師よりまとめ 会長あいさつ

本年、4月4～5日に千葉県勝浦市の日本武道館研修センターで開催されました令和8年度（第61回）剣道中央研修会に、茨城県剣道連盟から、岡田宗久先生を派遣して受講していただきました。本講習会は、その内容の伝達のお機として開催いたしました。今回の講習会を写真でご紹介します。

各地区・職域剣道連盟におかれましては、本講習会の内容につきまして、それぞれ所属する皆様に伝達していただきますようよろしくお願いいたします。



開講式での茨城県剣道連盟水田会長あいさつがあり、そのあと、倉持専務理事より、講師紹介と日程説明等がありました。



今回は、参加した方々には、客席に着席していただき、講義Ⅰを聴講していただきました。



講義Ⅰでは、全剣連の現状と課題、倫理に関するガイドライン（含む：パンフレット説明）、剣道未来プロジェクト（KFP）等について、講義がありました。



実技Ⅰ「指導法」～基本指導の留意点・安全対策・救急対策他～

特に、安全対策では、脳震盪で倒れた時に、首や頭を動かさないようにして防具を外す実技訓練として、3人一組で、一人が患者の頭を保護してもう一人が胸を外す練習をしました。





続いて、「木刀による剣道基本技稽古法」の実技を行いました。岡田講師から、間違いやすい点等について、ポイントを押さえて、正しい動きを確認しながら、テンポよく実技指導をしていただきました。岡田講師は、全剣連の中央講習会において各講師から強調して説明のあった点等について、重点的に伝達していただきました。中央講習会では、「木刀による剣道基本技稽古法」さらに「日本剣道形」についても、「全剣連から出版されている「木刀による剣道基本技稽古法」や「日本剣道形解説書」そして「剣道講習会資料」を熟読することに尽きる。」との指導があったとのことでした。





実技Ⅱ「日本剣道形」

実技指導の前に、岡田講師から、資料の「7. 共通理解」についての講話がありました。ここでも、日本剣道形解説書及び講習会資料を熟読することが重要という指導がありました。

岡田講師の講話後に有田講師からの実技指導に入りました。









実技Ⅲ「試合・審判法」～現状の課題他～

有田講師から、丁寧に細部にまで踏み込んだ指導がありました。3名の審判員の息を合わせること、動きを協調させること、また、主審を頂点として、副審を結んだ二等辺三角形そして選手を結んだ二等辺三角形、動きが遅くならないように、など、基本的な留意点の指導がありました。さらに、反則、合議、有効打突等、短い時間ではありましたが、中身の濃い「試合・審判法」の実技指導でした。





質疑応答

この時間では、参加者からの質問や意見等は特にありませんでしたが、岡田講師から、中央講習会での質疑の内容の紹介がありました。特に、試合における反則の判断について、中央講習会の参加者からの質問に対する香田先生からの回答内容が伝えられました。



講習最後の合同稽古では、講師並びに会長をはじめ八段の先生が元に立ち指導稽古及び参加者同士の互角がいこを行いました。

稽古終了時の閉講式では、岡田講師からまとめの講評をいただき、会長のあいさつで締めくくりました。

中央講習会に参加し、中心となって伝達いただいた岡田先生及び有田先生に感謝申し上げます。

皆様、お疲れさまでした。